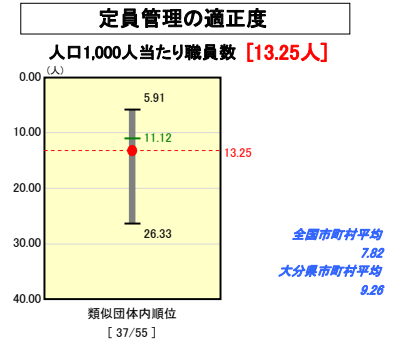
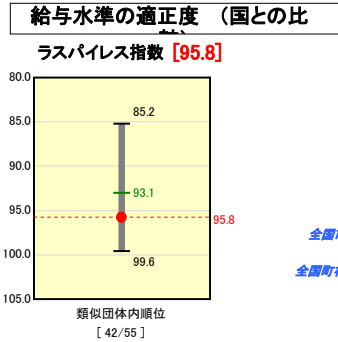
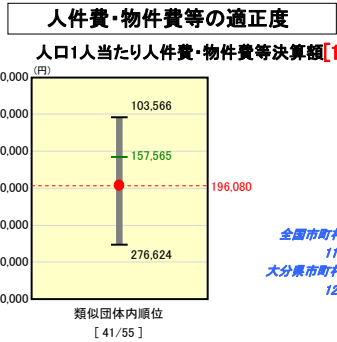
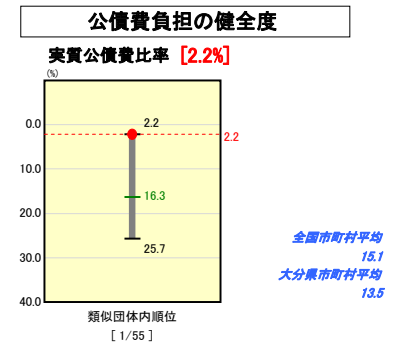
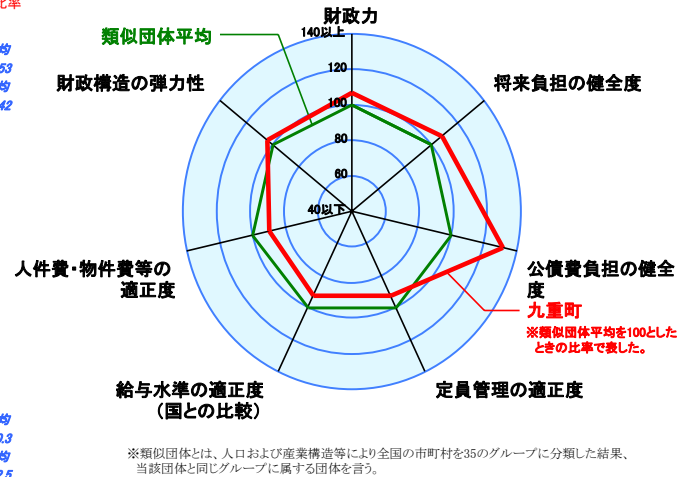
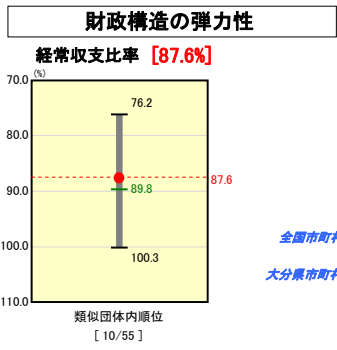
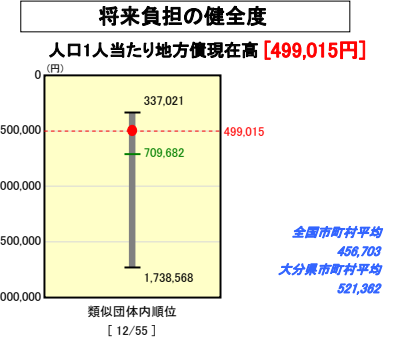
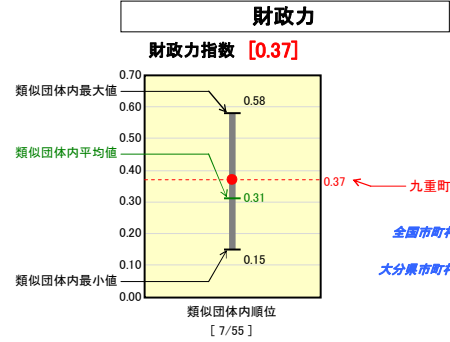


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 大分県 九重町

人口	11,397	人(H19.3.31現在)
面積	271.41	km <sup>2</sup>
歳入総額	7,659,633	千円
歳出総額	7,273,655	千円
歳入総額	300,611	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**<財政力指数>**  
大型事業所などの立地により、町税全体に対する固定資産税の占める割合(66.7%)が高く、類似団体平均を0.06ポイント上回っています。今後においては、個人や法人税の伸びが期待できないため、引き続き徴収強化に努めます。

**<経常収支比率>**  
歳出において人件費の抑制などがありました。歳入において地方税や普通交付税の減少により1.2ポイント上昇しています。類似団体平均を2.2ポイント下回りますが、集中改革プラン等計画に基づいた歳入の削減に努めます。

**<人口1人当たり人件費・物件費等決算額>**  
人件費など計画に基づいた削減により昨年と比較して2,853円減少し2年連続の減少となりましたが、類似団体平均を38,515円上回っています。九重町は面積が広いことや大吊橋に係る経費などにより単純に比較はできませんが、今後においては特に経常経費の削減が重要になります。

**<ラスパイレス指数>**  
職員給料のカットにより昨年と比較して1.2ポイント下回りましたが、類似団体平均を2.7ポイント上回っています。今後においては、定員管理に基づいた職員数を目差します。

**<人口1人当たり地方債現在高>**  
大吊橋の建設等の大型事業の影響により、昨年と比較して59,668円(全体で約6億円)の増となりました。今後大型事業が予定されているため、中・長期的な計画による地方債の発行に努め、また、計画的な繰上償還の実施に努めます。

**<実質公債費比率>**  
類似団体比較のみならず全国的にも非常に低く良好な状態といえます。要因としては、過去に実施した繰上償還により公債費負担が軽減されたことや特別会計への適正な繰り出し、また、地方債残高のうち交付税措置のある過疎対策事業債(39%)などの占める割合が多いことがあげられます。

**<人口1,000人当たり職員数>**  
昨年と比較して0.43人の増、類似団体平均と比較して2.13人の増となっています。今後については、集中改革プランの定員管理に基づき、平成27年度普通会計124人(27人減)を目標数値として削減に努めます。